

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成30年 1月30日更新

事務事業名	福祉会館管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	三苫 幸浩
	施策	6 社会福祉の推進	所属課	福祉課	担当者名	松永 博貴
	施策の柱	23 地域福祉の推進	所属班	社会福祉班	(内線)	2126
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 2	事業連番 10431	根拠法令 福祉会館設置条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	①福祉会館利用者の集計及び管理者である社会福祉協議会は、高齢者世帯、母子世帯、傷病世帯等の増加や地域福祉への関心の高まりから、社会福祉協議会によせられる期待は大きく、その役割も重要なものとなっている。 ②福祉会館の充実を図るため、平成21年度より直営とし地域福祉支援事業を社会福祉協議会に委託し実施している。 ③平成28年度は、熊本地震による影響から活動を縮小し実施した。
【業務の流れ】	福祉会館では相談支援事業などの事業を展開。
【主な予算費目】	照明安定器等の修繕費
【意見や要望】	合志市社会福祉協議会の活動拠点としては、ふれあい館、老人憩いの家及びみどり館があり、3施設とも合志市社会福祉協議会が指定管理者となっている。特に旧合志地区においては福祉会館での積極的な事業展開を求められている。また、施設使用料をウィーブルと一元化した。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	平成21年度より福祉会館で相談事業を開始し、それ以降はその推移を見守っている。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 施設が震災被害を受けているため、福祉会館の機能維持を図り、相談業務などに遺漏がないように取り組む
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) H	予算の主な増減の理由 消耗品費及び備品購入費の減
→ ア: 委託料に関する予算執行事務に要する時間 → イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 団体 → イ: 館の利用者数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	創意工夫に富んだ公の施設の管理運営	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 苦情の件数 件 → イ: 館の修理金額 円
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 利用者の利便性、特に高齢者が相談し易い環境を継続することで苦情の減少に努める。また、開館して18年を迎えるので、経年劣化等による改修修繕が今後も発生する。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア H		20	20	20	0	20	20	20	20
	イ									
② 対象指標	ア 団体		0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 人		14,446	17,044	15,000	191	15,000	15,000	15,000	15,000
③ 成果指標	ア 件		2	0	0	0	0	0	0	0
	イ 円		36,500	92,340	100,000	0	100,000	100,000	100,000	100,000
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	268	225	266	156	232	232	232
	(A) 事業費計	千円	268	225	266	156	232	232	232	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	3	1	1	1
	延べ業務時間	時間	20	80	50	160	50	50	50	
	(B)人件費計	千円	79	297	199	0	199	199	199	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	347	522	465	156	431	431	431	

事務事業名	福祉会館管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可の為、達成しなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可の為。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可の為向上の余地なし。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可の為。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成28熊本地震により、ヴィーブル改修に伴う福祉会館利用不可の為。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度は熊本地震の、ヴィーブルが被災したことにより、事務所窓口での相談や受付はできても、各部屋等の一般利用はできない状況。事務所での対応としては、窓口と電話による相談対応のみに限られ、福祉会館での専門相談をはじめ、子育てサークル等の事業は別会場での実施となった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>機構見直しに伴い、ヴィーブルの管理がすべて教育委員会管轄となることに伴い福祉会館条例を平成30年3月に廃止することとしている。しかし、これまでどおり合志地区の相談等福祉事業の機能を残すところで検討中。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持	○		低下		
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成果	向上																	
	維持	○																
	低下																	
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																		